

公共事業再評価調査

当日差替

(1/3)

整理番号 R4-8

担当部課名 県土整備部 道路課	電話番号 017-734-9651
	E-MAIL doro@pref.aomori.lg.jp

再評価実施要件 未着工 長期継続 (年) 再評価後 (5 年) その他 ()

1 事業概要

事業種別	道路改築事業	事業主体	● 県 ○ 市町村 ○ その他 ()																																																		
事業名	県道改築事業	地区名等	松代町陸奥赤石(停)線 深谷町	市町村名	鱈ヶ沢町																																																
事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独 財源・負担区分 ● 国 57 % ● 県 43 % ○ 市町村 % ○ その他 %																																																				
採択年度	平成 10 年度 (用地着手 平成 14 年度 / 工事着手 平成 15 年度)																																																				
終了予定年度	令和 9 年度 (令和 4 年 3 月 工期変更 <再評価時 令和 4 年度)																																																				
事業目的	<p>・本路線は、西津軽郡鱈ヶ沢町大字松代町の主要地方道弘前岳鱈ヶ沢線との交差点を起点とし、JR五能線陸奥赤石駅に至る延長約17kmの道路である。また、岩木山からミニ白神や赤石川溪流、くろくまの滝を經由し白神山地に至る重要な観光道路であるとともに、沿線集落と鱈ヶ沢町中心部を結ぶ生活道路でもある。本路線のうち当該工区は、幅員が狭くカーブ区間が連続し交通の隘路となっていることから、これらの解消を図るため整備を行うものである。</p> <p>【計画名称】青森県の道づくり基本方針(平成14年度策定)</p> <p>・交流促進と連携強化を支援するあおもりの道づくり ・安全で安心な暮らしを守るあおもりの道づくり</p> <p>【計画目標】①生活・経済圏間の連携強化支援 ②国土保全を担う中山間地域と都市との連携支援 ③交通拠点へのアクセス性強化 ④救急医療体制の支援 ⑤農水産品の都市への円滑な輸送支援</p>																																																				
主な内容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">再評価時(3回目)</th> <th style="width: 15%;">再評価時(4回目)</th> <th style="width: 15%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画延長</td> <td>2,760 m</td> <td>2,760 m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>計画幅員</td> <td>5.5(7.0) m</td> <td>5.5(7.0) m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>改良工</td> <td>2,750 m</td> <td>2,750 m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>舗装工</td> <td>19,250 m²</td> <td>19,250 m²</td> <td>0 m²</td> </tr> <tr> <td>橋梁工</td> <td>1 基</td> <td>3 基</td> <td>2 基</td> </tr> </tbody> </table> <p>・河川協議の結果(二級河川 赤石川水系 沼ノ沢川、県管理)、対岸耕作地への付替道路の工法変更(ボックスカルバート工2基→橋梁工2基)及び河川付替工事(護岸工)が必要となった。</p> <p>・深谷集落周辺に筆界未定地や関係者多数の共有地があり、用地取得が困難であることが判明し、全線供用のめどが立たない状況であったことから、地元鱈ヶ沢町と協議した結果、当該箇所を回避したルートに変更し、隘路解消の早期効果発現を図ることとなった。</p> <p>・橋梁工、護岸工、ルート変更に伴う法面工の増工、事業費精査により総事業費が増加したものである。</p>					区 分	再評価時(3回目)	再評価時(4回目)	増 減	計画延長	2,760 m	2,760 m	0 m	計画幅員	5.5(7.0) m	5.5(7.0) m	0 m	改良工	2,750 m	2,750 m	0 m	舗装工	19,250 m ²	19,250 m ²	0 m ²	橋梁工	1 基	3 基	2 基																								
区 分	再評価時(3回目)	再評価時(4回目)	増 減																																																		
計画延長	2,760 m	2,760 m	0 m																																																		
計画幅員	5.5(7.0) m	5.5(7.0) m	0 m																																																		
改良工	2,750 m	2,750 m	0 m																																																		
舗装工	19,250 m ²	19,250 m ²	0 m ²																																																		
橋梁工	1 基	3 基	2 基																																																		
事業費	<p>○再評価時(3回目)総事業費 <u>900</u> 百万円 (単位:百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">~R元年度</th> <th style="width: 10%;">R2年度</th> <th style="width: 10%;">R3年度</th> <th style="width: 10%;">R4年度</th> <th style="width: 10%;">小 計</th> <th style="width: 10%;">R5年度~</th> <th style="width: 10%;">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>800</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>① 1,250</td> <td>750</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>(280)</td> <td>(20)</td> <td>(10)</td> <td>(5)</td> <td>② (315)</td> <td>(4)</td> <td>(319)</td> </tr> <tr> <td>(R4年3月変更)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>696</td> <td>253</td> <td>0</td> <td>72</td> <td>③ 1,021</td> <td>979</td> <td>⑤ 2,000</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>(70)</td> <td>(47)</td> <td>(0)</td> <td>(72)</td> <td>④ (189)</td> <td>(130)</td> <td>⑥ (319)</td> </tr> </tbody> </table>						~R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	小 計	R5年度~	合 計	計 画	800	150	150	150	① 1,250	750	2,000	(うち用地費)	(280)	(20)	(10)	(5)	② (315)	(4)	(319)	(R4年3月変更)								実 績	696	253	0	72	③ 1,021	979	⑤ 2,000	(うち用地費)	(70)	(47)	(0)	(72)	④ (189)	(130)	⑥ (319)
	~R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	小 計	R5年度~	合 計																																														
計 画	800	150	150	150	① 1,250	750	2,000																																														
(うち用地費)	(280)	(20)	(10)	(5)	② (315)	(4)	(319)																																														
(R4年3月変更)																																																					
実 績	696	253	0	72	③ 1,021	979	⑤ 2,000																																														
(うち用地費)	(70)	(47)	(0)	(72)	④ (189)	(130)	⑥ (319)																																														

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

A ・ (B) ・ C

事業の進捗状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 30%;">計画全体に対する進捗</th> <th style="width: 30%;">年次計画に対する進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費割合</td> <td>51.1 % [③/⑤]</td> <td>81.7 % [③/①]</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>(59.2 %) [④/⑥]</td> <td>(60.0 %) [④/②]</td> </tr> <tr> <td>主要工種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改良工 (1,650百万円)</td> <td>63.1 %</td> <td>153.1 %</td> </tr> <tr> <td>舗装工 (100百万円)</td> <td>66.7 %</td> <td>66.7 %</td> </tr> <tr> <td>橋梁工 (250百万円)</td> <td>0.0 %</td> <td>0.0 %</td> </tr> </tbody> </table>		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗	事業費割合	51.1 % [③/⑤]	81.7 % [③/①]	(うち用地費)	(59.2 %) [④/⑥]	(60.0 %) [④/②]	主要工種			改良工 (1,650百万円)	63.1 %	153.1 %	舗装工 (100百万円)	66.7 %	66.7 %	橋梁工 (250百万円)	0.0 %	0.0 %
	計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗																				
事業費割合	51.1 % [③/⑤]	81.7 % [③/①]																				
(うち用地費)	(59.2 %) [④/⑥]	(60.0 %) [④/②]																				
主要工種																						
改良工 (1,650百万円)	63.1 %	153.1 %																				
舗装工 (100百万円)	66.7 %	66.7 %																				
橋梁工 (250百万円)	0.0 %	0.0 %																				
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・当該工区の隘路解消の早期効果発現を図るため、山子交差点側から順次現道拡幅工事を実施している。 ・令和3年度までに延長L=1,840mを拡幅、供用開始している。なお、令和2年度事業費には補正事業費153百万円が含まれるため、令和3年度事業費は0円となっている。 ・令和4年度から残る区間の用地買収を開始し、用地買収が完了した箇所から工事に着手する予定である。 																					
問題点・解決見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までに現道延長L=1,840mの拡幅を完了しており、当事業に対する地元の理解を得られている。 ・今後の事業進捗における阻害要因は無いが、前回再評価時から工期変更となる。 																					
事業効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅部分については、工事完了後速やかに供用開始・交通開放を行い、事業効果の早期発現に努めている。 																					

(2) 社会経済情勢の変化

(A)・B・C

社会的評価	全国・本県における評価	【全国の評価】 ・令和3年5月に閣議決定された「第5次社会資本整備重点計画」では、国民が真の豊かさを実感できる社会の構築を目的とし、「安全・安心の確保」、「持続可能な地域社会の形成」、「経済成長の実現」の3つの中長期的目的に資する社会資本を重点的に整備し、ストック効果の最大化を目指すことが必要とされている。	【県内の評価】 ・自動車交通への依存度が高い本県にとって、道路整備に対する根強い要望がある。 ・東日本大震災を契機として、これまで道路に必要とされてきた通行機能に加えて、災害発生時の防災機能（緊急物資輸送や避難路等）確保の重要性が再認識されている。
	当地区における評価	・地元自治体である鱒ヶ沢町から当該工区の早期完成を要望されている。	
必要性	・鱒ヶ沢町の主要観光地であるミニ白神や種里城跡・赤石川溪流、くろくまの滝へのアクセス向上を図るとともに、岩木山から白神山地に至る津軽西部の主要観光地をつなぐルートの一部を構成する重要な観光道路でありながら、現況は車道幅員が1車線分しかなく観光バスがすれ違えないことから、観光道路としての機能確保のためにも現況を改善する必要がある。ただし、県代行事業整備済区間（町道時、S52～H2、L=1,975m）を含む深谷集落～黒森集落までの延長約3.9km区間については、当該計画から分離した形で別途検討を行う。		a. b
適時性	・本路線は鱒ヶ沢町内の山子集落～深谷集落～細ヶ平集落～黒森集落間を連絡する唯一のライフラインとなっている。 ・観光道路、生活道路の両機能を確保しなければならないが、本路線は幅員1車線道路であるため現況改善の必要性がある。		a. b
地元の推進体制等	・地元自治体である鱒ヶ沢町から当該工区の早期完成を要望されており、事業に対する地元理解は得られている。		a. b
効率性	・車道幅員を2車線分確保することにより、沿線住民の利便性向上や観光ルートの確保が図られる。		

(3) 費用対効果分析の要因変化

A・(B)・C

区分	主な項目	再評価時(3回目)(H29)	再評価時(4回目)(R4)	増減
費用項目 (C)	(1) 事業費	789 百万円	1,984 百万円	1,195 百万円
	(2) 維持修繕費	158 百万円	224 百万円	66 百万円
	(3)	百万円	百万円	百万円
	(4)	百万円	百万円	百万円
	(5)	百万円	百万円	百万円
	総費用	947 百万円	2,208 百万円	1,261 百万円
便益項目 (B)	(1) 走行時間短縮便益	849 百万円	2,096 百万円	1,247 百万円
	(2) 走行費用減少便益	52 百万円	74 百万円	22 百万円
	(3) 交通事故減少便益	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	(4) 冬期便益	193 百万円	490 百万円	297 百万円
	(5) 防災便益	241 百万円	238 百万円	△ 3 百万円
	総便益	1,335 百万円	2,898 百万円	1,563 百万円
	地域修正係数(φ)	1.507	1.450	津軽地方生活圏
	修正総便益(B')	2,012 百万円	4,202 百万円	2,190 百万円
費用便益比	費用便益比(B'/C)	1.41	1.31	
	修正費用便益比(B'/C)	2.12	1.90	
費用対効果分析 (B/C)	【費用対効果分析手法】 （分析手法、根拠マニュアル等） ・費用便益分析マニュアル(平成30年2月 国土交通省道路局、都市局) ・道路整備事業における県独自の費用便益分析実施要綱(令和2年3月 県土整備部道路課)			a. b
計画時との比較	【計画時との比較における要因変化】 ・計画交通量の見直しにより便益が増加している。（最新のH27交通センサスに基づいた交通量に見直し） ・総事業費の増加に伴い、費用便益比は減少している。			a. (b)

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 ・路盤材、アスファルト舗装材に再生材を使用し、経費の縮減を図っている。 ・伐根材をチップ化したものを法面保護工の資材に使用することにより、経費の縮減を図っている。	a. b
代替案	【代替案の検討状況】 ・代替案としてバイパスルートが考えられるが、当該工区は山間部であるため大規模な土地の変更が必要となり、切土工・法面工・残土搬出等に多額の費用が見込まれることから、経済性・施工性・地域生活への影響を考慮した結果、現ルートが優位であると判断される。	a. b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 ・地元自治体である鯉ヶ沢町から当該工区の早期完成を要望されている。	【住民ニーズ・意見】 ・当該区間は、現道の車道幅員が狭小のため車両のすれ違いに支障をきたしており、生活道路及び観光支援道路として位置付けられている現道の改善が求められている。	a. b
環境影響への配慮	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 (1)対応状況 ● 配慮している ○ 配慮していない (2)区分 ○ 農林地等の緑地や植生の改変 ● 地形や地盤の改変 ● 水系や水辺の改変 ○ 海域の改変 ● 建設機械の稼働 ● 土砂等の搬出・搬入 ● 廃棄物処理等 ● 道路(車歩道)、雨水排水路の設置 ● 基礎や地下建造物の建設 ○ 低層建築物の建設 ○ 高層建築物・大規模施設等の建設に係る環境配慮 ● 高架構造物の建設 ○ 海底・海中建造物の設置や建設 (3)特に配慮する対応内容 ・低騒音・低振動型、排出ガス排出対策型建設機械を使用し、自然環境に配慮している。 ・沿道の自然景観資源に配慮し、法面植生工を速やかに施工することにより、表土崩壊などの防止に努めている。 ・産業廃棄物は再資源化施設へ搬入し、リサイクルに努めている。		a. b
地域の立地特性	(地域指定) 過疎地域、振興山村地域、特定農山村地域、農業振興地域、特別豪雪地帯 (災害の記録) なし (危険箇所情報) なし		

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	● 継続 ○ 計画変更 ○ 中止 ○ 休止
評価理由	・事業の進捗状況及び費用対効果分析の要因変化が「B」評価であるものの、本路線の持つ重要性や沿道環境の改善効果等を総合的に評価すると、今後も着実に事業を推進し、早期の事業効果発現を図る必要があることから対応方針を「継続」とした。
備考	

4 公共事業再評価等審議委員会意見

委員会意見	○ 対応方針(案)どおり ○ 対応方針(案)を修正すべき
委員会評価	○ 継続 ○ 計画変更 ○ 中止 ○ 休止
附帯意見	(附帯意見がある場合に記載)
評価理由	(委員会意見が「対応方針(案)を修正すべき」の場合に記載)